

DELICA D:5 3DA-CV1W H31.2 ~



「馬力向上」「燃費改善」

"Improved horse power"

"Improved fuel efficiency"

パワーブーストシステム (P.B.S) 搭載マフラー



標準車用
サークルテール



アーバンギア用
オーバルテール



※下記は標準車の画像です。

REARSIDE VIEW



SIDE VIEW



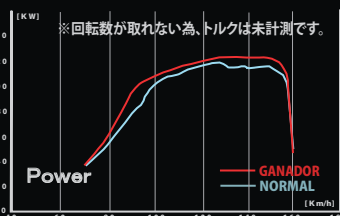
UNDER VIEW



標準車

Power + 4.6 ps
Torque 未計測 (回転数が取れない為)
Improved Fuel Efficiency (燃費改善率)
+ 11.1% UP

YouTube

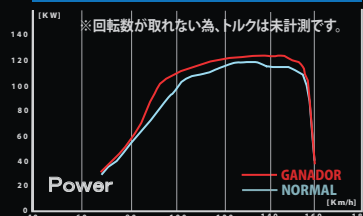


テール部のみポリッシュ仕上げ
品番: GVE-040PO ¥50,000 (税抜)
テール部のみチタニウム製ブルー発色
品番: GVE-040BL ¥55,000 (税抜)



アーバンギア

Power + 4.5 ps
Torque 未計測 (回転数が取れない為)
Improved Fuel Efficiency (燃費改善率)
+ 11.1% UP



テール部のみポリッシュ仕上げ
品番: GVE-041PO ¥65,000 (税抜)
テール部のみチタニウム製ブルー発色
品番: GVE-041BL ¥75,000 (税抜)

パワーブースト システムの説明

Clarification of the Power Boost System



A パワー

パワーブーストシステム（P.B.S）搭載スポーツマフラーとは車種ごとの構成要素（エンジン型式・重量・特性・取回し）等の固有条件に合わせた流体管理構造（P.B.S）を組み込む事でその性能をさらに大きく引き出すことに成功しました。（データ参照）全く新しいテクノロジーで、燃料を過給することなく性能だけを伸ばす事を実現したスポーツ走行向けマフラー、性能の高い車両独特の効果です。

B 燃費

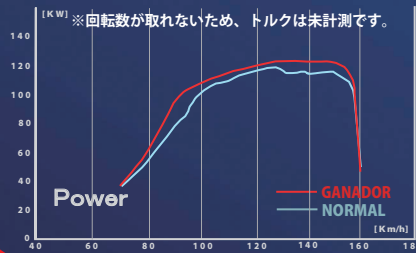
したがって、流れに合わせて、ゆったりと運転を続けると、強いパワーを使わなかった分の燃料は、そのままタンクに残ります。結果として、今まで以上に燃費は大きく改善します。（データ参照）

C サウンド

パワーアップしたそのサウンドは、音域を低く整え、心地よく反応して、ドライバーをアシストします。以上の効果で長距離走行では、ドライバーの体力を維持しながら、注意力の減少を防ぎ、安全運転につながります。

マフラー計測データの一例

デリカD：5 ディーゼル（リヤビースマフラーGVE-040シリーズ）



Power +4.6ps
Torque 未計測
Improved Fuel Efficiency
(燃費改善率) +11.1%UP

※データは、ガナドール社シャーンダイナモでの計測値です。
※ノーマルマフラーのデータ値は、車両個体差・気温・気候等の条件によりメーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。
※比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。

ここがポイント！

燃費計測は**満タン法**を推奨します。

車載燃費計のある車両の場合、燃費データは新しいマフラーのデータが蓄積するまで、正確に表示しません。マフラー装着後の走行距離が少し必要になる場合があります。尚、燃費を比較する場合は満タン法を推奨します。（下記①満タン法参照）



ガナドール社の実走行 燃費計測データの説明

Clarification of the fuel consumption data measured during actual running by Ganador

注1. 吸気系・排気系すべてがノーマルの車両を基準としてセッティングしてあります。ノーマルの状態でご使用下さい。

注2. 燃費データは、通常の実走行による対比計測データです。（満タン法 下図①）

これとは別に、流れに沿ってエコスタート・エコブレーキをすると、さらに燃費は改善します。

Leisurely driving keeps the fuel in the tank which hence fuel efficiency overwhelmingly improves

was supposed to be spent for supplying strong power, more than ever.

計測条件 ● 満タン法によるガナドール社実走行燃費比較

① 満タン法 (同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と向きを同一にし、同じ油面で給油しています。

●燃費比較計測は最も正確と思われる「満タン法」で行っています。

※給油時の注意
同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。
(車載の燃費メーターでは正確に測定できませんのでご注意ください。)

●走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)
→ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

② 走行条件 (距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や山道をおりまぜています。

●【走行距離】ガナドール社参考データ
一般道 32.2 km (約2.1%)
高速道路 95.5 km (約6.3%)
山道 (登り・下り) 24.4 km (約1.6%)
※一般道のみでの走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。

●【速度設定】ガナドール社参考データ
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせて。
高速道路は、法定速度にて巡航。

③ 計測環境 (強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ
同じコンディションで測定しています。

●同じ気温・気象条件で行っています。

●強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。

→ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

④ 全く同条件で運転 重要！ (加速時間と所要時間が同じであることが最も大事な条件)

ノーマルマフラーで5.0 km/hまでの加速時間が5.0秒の時、
ガナドールマフラーの時も
同じ5.0秒で加速しています。

●同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間で計測をしています。

【良い例】例えば、ノーマルで5.0 km/hまでの加速時間が5.0秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ5.0秒かけて加速するのが比較条件。

【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎているので比較計測になりません。
→ 燃費改善効果が得られません。

計測風景

一般道路

高速道路

往路

一般道路

登坂道路



給油後、一般道路からスタート。



同一速度での走行厳守。



山まで、しばらく一般道路。



マフラーの威力を発揮する連続した登り坂。

出発ポイント
到着ポイント

デリカD：5 ディーゼル の場合

GVE-040シリーズ
右シングル出しマフラー

中間ポイント

計測風景と結果（満タン法）

Improved Fuel Efficiency (燃費改善率) +11.1%UP

総走行距離 150.4 km

一般道路 31.8 km (2.1%)
高速道路 94.6 km (6.2.9%)
山間道路 24.0 km (1.6.0%)



決められたスタンドで、同じ給油条件で燃費計測。



高速道路を降りて一般道路へ。



ここでも同一速度をキープ。



山を降りて、しばらく一般道路。



折り返し地点で、一息。



下り坂も同一ペースで走行。

一般道路

高速道路

復路

一般道路

降坂道路

計測データ

燃費比較計測データ (ガナドール社データ)	走行距離 (km)	給油量 (L)	Improved Fuel Efficiency (燃費改善率)
ノーマルマフラー	150.4	10.69	...
GANADOR マフラー GVE-040マフラー	150.4	9.62	11.1%改善

各種計測データ (ガナドール社データ)	Power (ps)	Torque (kgf・m)	7ド リング 音量 (dB)	近接音量 (dB)	重量 (kg)
ノーマルマフラー	163.1	*	57.0	75.0	6.3
GANADOR マフラー GVE-040マフラー	167.7	*	58.0	76.0	3.2

※回転数が取れないため、トルクは未計測です。

2019年7月作成